

“地味な作業の積み重ね”こそが石見神楽のきらびやかさを生み出す

株式会社 小林工房／銀の道商工会

■業種 製造業(石見神楽の舞面・飾り面・陶器面・古面の復元・修理)

■住所 島根県大田市温泉津町小浜イ308-2

■電話番号 (0855) 65-2565

■ホームページ

<http://www.kobayashi-kobo.jp/>

私は

『 小規模事業者持続化補助金 』

を活用しました！

日本遺産に認定された「石見神楽」。衣装の豪華絢爛さはさることながら、表情豊かな面も舞を活気づける道具の一つです。その「神楽面」を作る職人が温泉津町に工房を構え、今日も制作に没頭しています。

幼いころから面職人への夢を持ち、11歳から地元の職人へ弟子入り。高校卒業後は京都造形芸術大学に進学し、卒業後は同大学で事務職員として勤務。この間も地元と度々行き来をし神楽面の制作に熱中。そして、その後2008年に地元へとUターン。職人として並々ならぬ、飽くなき探求心を持って「ものづくり」に日々挑む、小林泰三さんにお話を伺ってきました！

取り組みのきっかけはなんですか？

(株)小林工房を設立しましたが、元々は倉庫用の建物で、面を作る「作業場」とお客様を迎える「応接室」の区切りがつけづらく、面作りと商談の双方がやりづらい環境でした。区切りがないために不便が起こることもしばしばあり、このスペースを明確に分けたいと考えていました。

商工会からどのような支援を受けられましたか？

現状を説明し、自分の考えを商工会へ伝えたとこ、この補助金を活用してそれぞれのスペースを確保できるような環境にしようとの提案がありました。しかし、申請書類を書いたことは一度もなかったため、都度商工会の人に相談しつつ一緒に書類を書き進めていってもらいました。

取り組みの成果・効果を教えてください！

応接スペースを設けることができたおかげで、関係者以外の方が作業場内を勝手に見て回ることもなくなり、制作途中の面をみだりに触られることもなくなりました。更に、「ショーケース」も設置して、大切な面を飾って保管できているので安心していています。この補助金の活用は「有意義」なものでした。やりたことがあっても資金面で悩んでいる人にこそお勧めで、商工会も一緒になって取り組んでくれるので、「やってみよう！」という気持ちになれます。

代表取締役 小林泰三さん

現在は、神楽面制作の他に「壁画」製作にも取り組んでいます。現状は受注生産のような形態ですが、いずれは「事業」へと成長させたいと考えているところです。

そのためには、商工会のお力もお借りしたいので、その時はまたアドバイスや提案をお願いします！



吉田英樹(経営指導員)

2年前に事業承継し、若い感覚で新たな事業である和紙壁画制作にも取り組む等、頑張っている姿を見ており、継続的な支援を心がけています。今後、益々発展することを期待しています。